

研究課題番号	2-2302
研究課題名	気候変動適応と緩和に貢献する NbS―流域スケールでの研究―
研究実施期間	令和 5 年度～令和 7 年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	西廣 淳

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

気候変動の緩和、適応を目的とする NbS のモデルケースの構築に向けて、複数の課題に分かれて概ね計画通りに進められている。当初、懸念されていたサブテーマ間の連携や進行のバラツキについても特に問題ないことも確認した。主に欧州などで取り組まれている NbS について、ぜひ本課題で日本を代表する成果を創出してほしい。里山は、我が国の国土の大部分を占めており、このエリアの管理はきわめて重要な課題である。全体的に社会実装や環境政策への寄与を強く意識した研究である点を評価した。適応策、防災・減災、緩和策を同時実現する NbS が研究成果としてしっかり上がるように進めてほしい。日本全域への応用を見据えて研究手法をスケールアップしていく方向性を追求すると、今後の発展につながるのではないかな。